

マテリアリティ (重要課題)

マテリアリティ特定のプロセス

1 | マテリアリティ候補の抽出

社会課題、市場・社会動向、GRI スタンダードなどを参考に、サステナビリティ推進メンバーにて検討すべき課題を抽出

2 | マテリアリティ候補の評価・分析

当社の重要度、ステークホルダーの重要度に基づき分析・評価

3 | 経営陣による妥当性評価





特定プロセスを含む抽出した重要課題に対して、社外取締役などへの意見聴取を行い、マテリアリティの妥当性を評価

4 | マテリアリティの特定

経営会議体での審議を経て重点取り組みテーマを選定

5 | レビュー

会社方針と紐付けた取り組みのレビュー、サステナビリティ会議における確認・定期的なマテリアリティの見直しを実施

	サステナビリティ重要課題 (マテリアリティ)	主な取り組み (社会課題/機会やリスクへの対応)
	<ul style="list-style-type: none"> ● クルマの様変わりへの対応 ● 交通死亡事故の低減による安心・安全・快適なモビリティ社会の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ● BEV化に向けた新製品の開発 P.26 ● BEV先行市場・OEMへの拡販 P.25 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● 全ての人に安心・安全・快適を届けるためのエアバッグ製品の開発・拡販 P.27 P.48
	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出量削減・温室効果ガス排出量削減による脱炭素社会の構築 ● 廃棄物低減・水リスク低減による循環型社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規事業開発の経験を活かした新規ビジネス拡大 P.34 ● コーポレートベンチャーキャピタルの活用 P.37 ● スマート工場の具現化(生産性倍増) P.38 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● ゴム・樹脂分野の知見を活かした環境配慮型ビジネスの構築 P.29 P.33 ● カーボンニュートラルの実現に向けたグローバル一体活動 P.54 ● 循環型社会への貢献(Car to Car リサイクル) P.58
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会との共生 ● 多様な人材の活用推進・人権尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会に根差した取り組み(地域自立的経営、センターオブエクセレンス) P.42 ● ダイバーシティ&インクルージョン P.62 ● 安全・健康経営 P.68 ● サステナビリティ経営を支える品質とサプライチェーンの強化 P.65 ● 地政学および経済的リスクへの対応 P.82
	<ul style="list-style-type: none"> ● 誠実な会社としてのコーポレートガバナンス ● コンプライアンスの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ● BCPのレジリエンス強化 P.84 ● 内部統制の強化 P.70

KPI・中長期目標 (2030年度)	関連するSDGs 最重要分野
<ul style="list-style-type: none"> ● BEV関連売上収益比率: 40% <p style="margin-left: 20px;">目標設定の計算式 BEV生産台数 / 自動車生産台数 ※S&Pグローバル情報に基づく</p> ● エアバッグの生産個数 : +1.5倍 (2022年比) 	<div style="text-align: center;">  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> <p style="text-align: center;">安心・安全・快適な モビリティ社会の実現</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● キャッシュ・アロケーションに基づく (安心・安全、快適、脱炭素の貢献領域の拡大を目指した研究開発費や人的投資、戦略投資を中心に資金配分) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● スコープ1,2 : カーボンニュートラル ● スコープ3 : △27.5% (2019年比) ● 再エネ導入率 : 100% ● 廃棄物量(総量)【単体】: △50% (2012年比) ● 廃棄物量(原単位)【海外】: △55% (2015年比) 	<div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <p style="text-align: center;">イノベーション創出による 社会課題解決</p> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">脱炭素・循環型 社会の実現</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 人権に関する研修実施率 : 100% ● 海外拠点のローカル幹部職比率 (副社長以上) : 60%以上 ● 女性管理職数 (比率) 【単体】: 100人 (8.8%) ● 中途採用者の管理職比率【単体】: 30%以上 ● 仕入先のサステナビリティ活動実施率 : 100% ● 従業員エンゲージメント肯定率【単体】: 75% ● 重大災害発生件数 : 0件 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも 経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>10 人や国の不平等 をなくそう</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">多様な人材の活躍による 持続的成長</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 重大法令違反件数 : 0件 ● サイバーセキュリティ重大インシデント : 0件 	<div style="text-align: center;">  <p>16 平和と公正を すべての人に</p> </div> <p style="text-align: center;">公平で透明性のある 企業統治体制</p>